

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

| | | | | |
|-------|---------------|---------|-------------------|----------------|
| | 事務事業番号 | 101 - 1 | 新規・継続 | 継続 |
| 事務事業名 | 平和行政推進事業 | 一般会計 | 2 款 1 項 12 目 5 細目 | ソフト |
| 所 属 | 総務部 総務課 行政経営係 | | | 総合計画施策体系 1 - 1 |

2 事務事業の概要・活動計画・指標

| | | | | | | | | | |
|---|---|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|--------------|
| 目的 (何のために) | 平和事業の推進及び原爆被爆資料保存事業等への補助により、恒久平和の実現に向けた平和を考える機会をつくる。 | | | | | | | | |
| 対象 (誰・何を対象に) | 市民ほか | | | | | | | | |
| 事業の概要 及び H28活動計画 | <p>1 平和事業の推進(2,275千円) 核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、市民や他自治体と連携して平和活動を展開する。</p> <p>(1) 平和団体との連携(340千円) ア 日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議への加盟 イ 平和活動団体等が主催する平和行事への参加</p> <p>(2) 平和に関する啓発 ア 戦没者追悼式並びに平和祈念式典の開催(社会福祉課と共催) イ 巡回原爆展等による平和に関する啓発活動(60千円) 市内公共施設を巡回する原爆パネル展の開催や、核兵器廃絶に向けた署名活動等により、市民の平和に関する意識啓発を図る。 ウ 原爆の日及び終戦記念日における黙とうの呼びかけ</p> <p>【新】(3) 被爆・戦争体験等の継承 ア 原爆被爆体験の継承(60千円) 市民が行う平和学習会等に被爆体験証言者を派遣し、被爆体験の継承を図る。 イ 平和・戦争遺跡等パンフレット作成(1,653千円) 平和・戦争に関する遺跡等の調査及びパンフレット作成を行い、平和学習等の資料として活用する。</p> <p>2 原爆被爆資料保存事業等への補助(364千円) 東広島市原爆被爆資料保存推進協議会が実施する事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>(1) 平和学習バスの運行 (2) 原爆被爆資料の展示等 ア 常設展示室の運営(所在地:市民文化センター2階) イ 東広島市原爆展(特別展示)の開催 (3) 被爆証言活動</p> | | | | | | | | |
| 活動・結果 指標 | 【活動・結果指標名】 | 単位 | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | | | | |
| | 平和学習会等に係る講師派遣回数 | 回 | — | — | 10 | | | | |
| 成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果) | 原爆被爆体験の継承及び平和に関する意識の醸成を成果目標とする。 | | | | | | | | |
| 成果指標 (目標達成状況等) | 【成果指標名】 | 単位 | 26年度 (実績値) | 27年度 (目標値) | 28年度 (目標値) | 28年度 (実績値) | 達成率 | 29年度 (目標値) | 一年度 (目標値) |
| | | | | | | | | | |

3 コスト情報

| | | 26年度(決算) | 27年度(予算) | 28年度(予算) | 29年度(予算) |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 事業費 | 事業費合計(A) | 667 千円 | 8,039 千円 | 2,639 千円 | 千円 |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国県支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 一般財源 | 667 千円 | 8,039 千円 | 2,639 千円 | 千円 |

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

| | | | | |
|-------|-------------------|---------|----------|------------------|
| | 事務事業番号 | 101 - 2 | 新規・継続 | 継続 |
| 事務事業名 | 人権啓発・男女共同参画推進事業 | | 一般会計 | 3 款 1 項 6 目 3 細目 |
| 所 属 | 生活環境部 人権推進課 人権推進係 | | 総合計画施策体系 | 1 - 1 |

2 事務事業の概要・活動計画・指標

| | | | | | | | | | |
|---|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|---------------|
| 目的 (何のために) | 市民一人ひとりが人権尊重の意識を高め、生き生きと暮らせる社会の実現、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、意識啓発を推進する。 | | | | | | | | |
| 対象 (誰・何を対象に) | 市民・企業 | | | | | | | | |
| 事業の概要 及び H28活動計画 | <p>1 人権啓発の推進(5,064千円)</p> <p>(1) 啓発活動(4,319千円)</p> <p>ア 人権週間記念事業(人権フェスティバル等) 広く市民を対象とした親しみやすい人権啓発行事</p> <p>イ 人権教育・人権啓発指導者研修会 行政関係者等、人権啓発の推進に関わる人を対象とした研修会</p> <p>ウ その他の啓発活動(人権の花運動、デートDV防止講座等)</p> <p>(2) 人権擁護事業への補助(745千円) 東広島竹原人権擁護委員協議会が実施する事業(人権相談所の開設、街頭啓発、市内小学校等での人権教室等)に対する補助</p> <p>2 男女共同参画に係る啓発の推進(4,658千円)</p> <p>(1) エスポワールの運営(3,020千円)</p> <p>ア 各種情報の収集・提供</p> <p>イ 働く女性の相談室 女性を対象とした、仕事上の悩み(セクハラ、パワハラ、家庭との両立)や、働きたい人の悩みに応じる相談室</p> <p>【新】ウ おしゃべりカフェの拡充 市民を対象とした気付きの学習の機会 これまでエスポワール活動推進員による講座を開催してきたが、新たに外部講師による講座を加え、回数を増やすことにより、地域の女性リーダー養成の基盤づくりを行う。</p> <p>(2) 啓発活動(1,638千円)</p> <p>ア 男女共同参画のまちづくり講演会 市民や企業を対象とした、仕事と家庭の両立や女性活躍推進等をテーマとする講演会</p> <p>イ キャリアデザイン講座 高校生を対象とした、男女ともに将来の仕事や家庭について考えるきっかけづくりを目的とする講座</p> <p>ウ 男女共同参画の人形劇 幼児とその保護者を対象とした、社会的な性別の意識に対する気付きを目的とする人形劇と講話</p> | | | | | | | | |
| 活動・結果 指 標 | 【活動・結果指標名】 | 単位 | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | | | | |
| | 人権に関する講座・講演会(講師派遣含む)の参加者数 | 人 | 1,761 | 1,200以上 | 1,200以上 | | | | |
| | 男女共同参画に関する講座・講演会(出前講座含む)の参加者数 | 人 | 954 | 800以上 | 800以上 | | | | |
| 成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果) | <p>人権啓発については、市民の人権意識の高揚を目指しており数値上の成果を測ることは困難であるが、講演会等の内容への理解度が現れるものとして、参加者アンケートにおける満足度を成果指標とする。</p> <p>男女共同参画については、働く場での男女共同参画の推進を測るものとして、広島県仕事と家庭の両立支援登録企業数(東広島市分)を成果指標とする。</p> | | | | | | | | |
| 成果指標 (目標達成状況等) | 【成果指標名】 | 単位 | 26年度 (実績値) | 27年度 (目標値) | 28年度 (目標値) | 29年度 (実績値) | 達成率 | 30年度 (目標値) | 31年度 (目標値) |
| | 人権に関する講座・講演会の参加者の満足度 | % | 99.2 | 90 | 90 | | | | — |
| | 広島県仕事と家庭の両立支援登録企業数(東広島市分) | 社 | 65 | 85 | 95 | | | | 115 |



人権フェスティバル2015
ひがしひろしま会場での
「人権の花運動」報告パネル展示



平成27年度男女共同参画の
まちづくり講演会
「生産性を高める戦略的働き方と
リーダーシップ」

3 コスト情報

| | | 26年度 (決算) | 27年度 (予算) | 28年度 (予算) | 29年度 (予算) |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費 | 事業費合計 (A) | 7,526 千円 | 9,783 千円 | 9,722 千円 | 千円 |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国県支出金 | 142 千円 | 1,517 千円 | 933 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他 | 6 千円 | 8 千円 | 6 千円 | 千円 |
| | 一般財源 | 7,378 千円 | 8,258 千円 | 8,783 千円 | 千円 |

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

| | | | | |
|-------|--------------------|---------|------------------|----------------|
| | 事務事業番号 | 101 - 4 | 新規・継続 | 継続 |
| 事務事業名 | 人権センター管理運営事業 | 一般会計 | 3 款 1 項 6 目 9 細目 | ソフト |
| 所 属 | 生活環境部 人権推進課課 人権推進係 | | | 総合計画施策体系 1 - 1 |

2 事務事業の概要・活動計画・指標

| | | | | | | | |
|---|--|---|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 目的 (何のために) | 市民の福祉向上、人権啓発の推進及び市民の交流を促進するとともに、開かれたコミュニティセンターとして、生活上の相談事業等を実施するために人権センター4館の管理運営を行う。 | | | | | | |
| 対 象 (誰・何を対象に) | 市民 | | | | | | |
| 事業の概要 及び H28活動計画 | <p>1 人権センターの管理運営(28,096千円) 人権センターにおいて、市民の福祉向上、人権啓発の推進を図るために次の事業を行う。</p> <p>(1) 人権センターの維持管理(27,820千円) 市内4か所に配置する人権センターの維持管理に必要な人員の配置や施設の維持修繕、物品の購入等を行うとともに公共施設の適正配置にむけて情報収集等を行う。</p> <p>(2) 相談事業の実施(116千円) 市民からの人権に関わる相談に対し適切な助言を行えるよう、人権センター職員に、資質向上のための研修に参加させる。</p> <p>(3) 啓発・広報活動の実施(160千円) 人権に対する理解を深めるため、人権センターだよりの発行や啓発パンフレット配布などを行う。</p> <p>2 交流促進講座等開催(2,040千円) 地域ニーズに即した各種教養・文化活動等の講座を開催し地域住民の交流を図る。</p> | | | | | | |
| |  |  | | | | | |
| | 黒瀬文化会館 発表会 | 東広島市人権センター 木工教室 | | | | | |
| 活動・結果指標 | 【活動・結果指標名】 | 単位 | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | | |
| | 人権センター便りの発行回数 | 回/年 | 48 | 48 | 48 | | |
| | 交流促進講座(主催講座)の数 | 講座 | 29 | 30 | 30 | | |
| 成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果) | すべての人の人権が尊重される社会の実現という点においては、数値で評価することが難しい。開かれたコミュニティセンターとして年間利用者数を成果指標とする。 | | | | | | |
| 成果指標 (目標達成状況等) | 【成果指標名】 | 単位 | 26年度 (実績値) | 27年度 (目標値) | 28年度 (目標値) | 29年度 (目標値) | 一年度 (目標値) |
| | 年間利用者数 | 人 | 12,803 | 14,000 | 14,000 | | |

3 コスト情報

| | | 26年度 (決算) | 27年度 (予算) | 28年度 (予算) | 29年度 (予算) |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費 | 事業費合計 (A) | 29,720 千円 | 34,951 千円 | 30,136 千円 | 千円 |
| | 財源内訳 | 20,850 千円 | 24,419 千円 | 20,780 千円 | 千円 |
| | 国県支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 12 千円 | 6 千円 | 6 千円 | 千円 |
| | その他 | 8,858 千円 | 10,526 千円 | 9,350 千円 | 千円 |

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

| | | | | |
|-------|---------------|---------|------------------|-------|
| | 事務事業番号 | 101 - 5 | 新規・継続 | 継続 |
| 事務事業名 | 企業民主化推進助成事業 | 一般会計 | 5 款 1 項 1 目 2 細目 | ソフト |
| 所 属 | 産業部 産業振興課 労政係 | | 総合計画施策体系 | 1 - 1 |

2 事務事業の概要・活動計画・指標

| | | | | | | | | | |
|---|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|--------------|
| 目的 (何のために) | 東広島市企業民主化経営推進協議会を通じて、企業の経営者が様々な人権課題について理解を深めることで、企業経営の民主化を図る。 | | | | | | | | |
| 対象 (誰・何を対象に) | 市内企業経営者 | | | | | | | | |
| 事業の概要 及び H28活動計画 | <p>1 東広島市企業民主化経営推進協議会への運営補助(77千円) 人権尊重の理念の普及や様々な人権課題について理解を深めるため、人権教育及び人権啓発活動に取り組み、経営者の資質向上を図ることを目的に活動している「東広島市企業民主化経営推進協議会」に対し補助金を交付する。</p> <p>(1)協議会の概要 設立年:昭和56年 会員企業数:92社(平成28年1月現在)</p> <p>(2)活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、理事会の開催 ・研修会の開催 ・企業内研修の推進(啓発冊子、DVDを購入し、会員企業へ配布・貸与) ・他機関主催の人権研修会等への参加 | | | | | | | | |
| 活動・結果指標 | 【活動・結果指標名】 | 単位 | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | | | | |
| | 研修会、講演会参加者数 | 人 | 85 | 100 | 100 | | | | |
| 成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果) | 企業民主化経営推進協議会の活動を推進していくうえで、会員企業数の増加が重要となることから、会員企業数を成果指標として設定している。 | | | | | | | | |
| 成果指標 (目標達成状況等) | 【成果指標名】 | 単位 | 26年度 (実績値) | 27年度 (目標値) | 28年度 (目標値) | 28年度 (実績値) | 達成率 | 29年度 (目標値) | 一年度 (目標値) |
| | 企業民主化経営推進協議会 会員企業数 | 社 | 94 | 100 | 100 | | | | |

3 コスト情報

| | | 26年度 (決算) | 27年度 (予算) | 28年度 (予算) | 29年度 (予算) |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費 | 事業費合計 (A) | 85 千円 | 80 千円 | 77 千円 | 千円 |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国県支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 一般財源 | 85 千円 | 80 千円 | 77 千円 | 千円 |

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

| | | | | | |
|-------|-------------------|--------|---------|----------|-----------|
| | | 事務事業番号 | 101 - 6 | 新規・継続 | 継続 |
| 事務事業名 | 人権教育推進事業 | 一般会計 | 10 款 | 1 項 | 3 目 90 細目 |
| 所 属 | 生涯学習部 生涯学習課 社会教育係 | | | 総合計画施策体系 | 1 - 1 |

2 事務事業の概要・活動計画・指標

| | | | | | | | | | | |
|---|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----|---------------|--------------|
| 目的 (何のために) | すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現をめざし、人権に関する学習機会の充実を図る。 | | | | | | | | | |
| 対象 (誰・何を対象に) | 市民、生涯学習センター及び地域センター職員 | | | | | | | | | |
| 事業の概要 及び H28活動計画 | <p>1 人権教育講座の開催(420千円) 生涯学習センター及び地域センターにおける人権講座講師謝金</p> <p>2 人権教育研修会等への参加及び職員研修会開催(77千円) (1) 広島県人権教育指導者養成研修会 (2) 生涯学習センター及び地域センター職員合同研修会</p> <p>【備考】</p> <p>○ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 第二条 この法律において、人権教育とは、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動をいい、人権啓発とは、国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く。)をいう。</p> <p>○ 広島県人権教育・啓発指針 第3 人権教育・啓発の基本的なあり方 1 人権教育 人権教育は、県民一人ひとりに人権尊重の精神が育まれることを目的として行われる教育活動をいう。</p> <p>○ 東広島市人権教育及び人権啓発推進基本計画 第4章 普遍的な視点からの取組み(東広島市人権教育及び人権啓発推進基本計画) (2) 社会教育 社会教育においては、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現をめざし、人権に関する学習機会の充実を図ります。その際、人権に関する学習では単に人権問題を知識として学ぶだけではなく、日常生活における態度や行動に現れるような人権感覚を身につけることが重要であることに留意します。</p> | | | | | | | | | |
| 活動・結果 指 標 | 【活動・結果指標名】 | 単位 | 26年度(実績) | 27年度(目標) | 28年度(目標) | | | | | |
| | 人権教育等講座の回数 | 回 | 62 | 84 | 84 | | | | | |
| 成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果) | 生涯学習センター及び地域センターにおいて実施される人権講座がより効果的なものとなることを目的として職員を対象とした研修会を実施しており、各施設において人権教育講座への受講の機会が増えれば、より多くの市民に人権尊重の精神が育まれると考えられるため、講座の参加者数の増加を成果指標とする。 | | | | | | | | | |
| 成果指標 (目標達成状況等) | 【成果指標名】 | 単位 | 26年度 (実績値) | 27年度 (目標値) | 28年度 (目標値) | 29年度 (目標値) | 29年度 (実績値) | 達成率 | 29年度 (目標値) | 一年度 (目標値) |
| | 人権教育等講座の参加者数 | 人 | 1,333 | 1,190 | 1,400 | | | | | |

3 コスト情報

| | | | | | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 26年度 (決算) | 27年度 (予算) | 28年度 (予算) | 29年度 (予算) |
| 事業費 | 事業費合計 (A) | 550 千円 | 678 千円 | 598 千円 | 千円 |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国県支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 一般財源 | 550 千円 | 678 千円 | 598 千円 | 千円 |